

ひかり

JA東旭川だより

あけ

謹賀新年



TOPICS

新年ごあいさつ ②

No. 260  
2023.1.1





## 新年のご挨拶

代表理事組合長 畑山 義裕



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様にはご健勝にて輝かしい新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費低迷、世界情勢の変化、円安による燃料・肥料など生産資材の高騰により、農業経営が大変厳しい1年となりました。

このような中、東旭川農業の基幹作物であります水稻につきましては、春作業も順調に進み、天候にも恵まれ生育が良好に推移し無事収穫期を迎える事ができました。作況指数は107の（良）となり、品質についても昨年のような極端な高温もなく夜温も低下したことから、胴割れや心白・腹白などが少なく、令和3年度を上回る量の低タンパク米が出荷され、販売先より食味・白度・歩留まりも平年より良好と評価を得ております。

畑作については、春小麦が7月高温の影響により収量減となりましたが、秋小麦については平年以上の収量を確保することができました。大豆についても豊作となり、そばは収量が多く価格も高く、良い年となりました。

そ菜・花きについては、収量は平年を下回りましたが、価格が高値で推移しましたので、販売計画を達成することが出来ました。

農業を取り巻く情勢は厳しさを増しておりますので、JAグループが中心となって環境変化などを踏まえた持続可能な北海道農業を確立しなければなりません。そのためには、①食料・自給飼料の安定生産・安定供給と、農業における環境負荷軽減の両立 ②農地をフル活用した農業生産 ③食糧供給基地を担うにふさわしい農業所得の安定的な確保をめざす必要があります。

これらの目標に向けて、農業・JAの更なる発展のため組合員の皆様と共に様々な課題を解決してまいり所存でございます。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いつつ、組合員の皆様のご健勝で豊穡の年となりますようご祈念申し上げ、新年に当たってのご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

代表理事組合長 畑山 義裕

筆頭理事 横尾 政博

理事 請川 幹恭

信用担当理事  
(金融共済課長) 吉田 一明

代表監事 紺藤 正司

監事 荒内 孝文

理事 坂井 英樹

理事 佐藤 絢也

理事  
(営農販売課長) 吉原 寿一

常勤監事 関根 和子



## 令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会  
代表理事会長 小野寺 俊 幸



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありましたが、収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んでまいります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んでまいりましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶



上川農業改良普及センター  
所長 鈴木 康 義

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、新たな気持ちで輝かしい初春をお迎えのことと存じます。

また、皆様には平素から普及センターの活動全般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、融雪期は平年と比べ7日早い4月2日となり、比較的温暖な春を迎えました。融雪後、耕起作業は平年に比べ4日早く始まり、その後も春耕期は好天に恵まれ順調な作付が行われました。6月前半に低温の期間がありましたが、その後の天候は順調に推移し、特に6月下旬から7月中旬にかけて、平年を上回る気温と十分な日照時間、降水量に恵まれました。また、台風等の接近が危ぶまれたこともありますが、幸い大きな気象災害も無く、各作物とも平年作以上の生育となりました。

こうした気象経過から、上川地方における水稻の作柄は作況指数107と昨年に続いて「良」、白未熟粒や胴割等も少なく、品質も平年並みとなる豊作となりました。また、各転作作物、園芸作物ともに6月の低温による生育停滞等の影響は見られたものの、最終的には平年並みかそれ以上の作柄となりました。

このような作柄となりましたことは、気象条件や病虫害の発生に対応した、皆様のきめ細やかな栽培管理が結果に繋がったものと、改めて敬意を表するところでありますが、例年になく最低気温が高い等、気候変動による温暖化が好適に働いた結果も少なからずあるかと思います。

気候変動対策や生産者の減少等に対し、国では一昨年より「みどりの食料システム戦略」として生産力向上と持続性を両立させる農業をめざしています。また、ウクライナ情勢の長期化等により、生産資材価格の高騰が農業経営に多大な影響を与えてる中、食品原料価格の値上がりが続く、食料安全保障等、農畜産物の国内生産に対する期待も高まりつつあります。先行きが予想できない状況ではありますが、上川地域農業の優位性や潜在力を最大限に活用することで、この難局を乗り越え、持続可能な生産基盤を確立できるものと考えます。

普及センターも、国内外の情勢を的確に捉え、組合員の皆様及び関係機関の方々と一体となり、共に考え、生産振興と地域振興を支援してまいりますので、皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、引き続き豊穰の年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

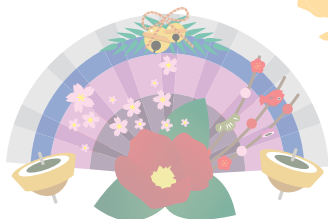
## 謹賀新年

北海道上川総合振興局 上川農業改良普及センター

所 長	鈴木 康 義	次 長	松 浦 準
地域第四係長	星 春 光	主 査 (畑 作)	吉 川 文 哉
専門普及指導員	古 川 薫	専門普及指導員	太 田 雅 章



## 新年のご挨拶



青年部  
部長 鹿野 剛



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様をはじめ、各関係機関、JA役職員の皆様には日頃より青年部活動にご協力、ご理解賜りまして厚くお礼を申し上げます。

昨年は、3年ぶりの開催となった神社エールに出店することができ、まずは久しぶりの活動が素直に楽しく、青年部活動の「良さ」を改めて実感することが出来ました。女性部との合同事業は、コロナ禍で開催を判断するようなイベントではなく、どのような状況でも実行できる事業という視点から立案し、「ごはんがすすむ農家めし」という企画で、サツマイモを使ったレシピを考案、試作しました。そのレシピは、JA上川ビル1階にあるみはら食堂で11月14日から18日まで実際にお客様に提供されました。

市内4JA青年部で構成されている旭川地域青年農業者連絡協議会としては、旭川市の市制100周年イベントへの出店や、みどりの食料システム戦略を軸に有機農業についての研修会を開催し、多くの青年部員が参加、勉強することが出来ました。この協議会は他JA青年部の盟友との交流ができることもすごく価値がある活動だと感じています。

また、個人的には、とても苦しい1年でした。同時に、楽しい1年でもありました。初めてのことが多く、じっくり作物を見る時間もなければ、頭の中から青年部活動のことが抜けてしまうほど忙しく、苦しみながら何とか乗り越えた感じです。新しいことを始めるときに、一歩前に進もうとするときに、こんなにも辛いものかと思いました。それでも自分のこれからのビジョンをしっかり持って、それに向かってまた一歩一歩と進んでいこうと思います。

自分がこの場所で農業をやる意味を「見つけるのか」、「見出すのか」。なんとなく…では面白くありません。苦しかったけど、就農してから一番楽しい1年でした。

青年部員のほとんどが経営者になっているということもあり、肥料や資材の高騰などの社会情勢や、国の政策、循環型農業などの情報や研修会等の要望が多くなっています。

机に座ってお勉強も大切ですが、いろんな経営者に会いに行き行って価値観だったり、信念だったり、失敗談や苦労話を聞いたり、やっていることを見に行くことのほうが、これからのこの地区の未来のためになるのではないかと感じております。

結びになりますが、本年が皆様にとって豊穡の年となる素晴らしい1年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

青年部

部長 鹿野 剛  
副部長 横尾 裕司  
会計 鈴木 涼介  
監事 小竹 一茂

## 謹賀新年

東旭川農協地域農業再生協議会  
JA東旭川担い手育成総合支援協議会  
東旭川農協地域営農活性化総合推進協議会

会長 畑山 義裕  
委員 坂井 英樹  
委員 吉田 一明  
委員 大橋 政美  
委員 守屋 大輔  
委員 川西 忠一  
監事 紺藤 正司

副会長 小檜山 隆  
委員 請川 幹恭  
委員 吉原 寿一  
委員 高倉 伸淳  
委員 鹿野 剛  
委員 小原 隆  
監事 関根 和子

委員 横尾 政博  
委員 佐藤 絢也  
委員 鈴木 初彦  
委員 市田 敏行  
委員 吉岡 京  
委員 外山 実  
監事 荒内 孝文



## 新年のご挨拶

女性部  
部長 吉岡 京



新年あけましておめでとうございます。  
 組合員の皆様には、日頃より女性部活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。  
 昨年は新型コロナウイルスの影響で女性部活動を自粛する中、集荷場の花壇づくり、花園芸ハウスでのプランター・ガーデニング体験、3年ぶりの夏期研修は夕張方面へ行くことが出来ました。また、JA東旭川女性部設立70周年を迎える事ができ、これも皆様のおかげと感謝申し上げます。  
 今年こそは普段通りの活動が出来ることを期待し、部員一同精一杯頑張る所存でございます。  
 最後になりますが皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

女性部  
 部長 吉岡 京  
 副部長 牧 恵子  
 会計・書記 田村 裕美子  
 理事 椎名 ゆかり  
 監事 大橋 美智子



## 新年のご挨拶

旭川青果物生産出荷協議会東旭川支部  
会長 守屋 大輔



新年明けましておめでとうございます。  
 青果連東旭川支部協議会の会員の皆様におかれましては輝かしい新年をむかえられたことと存じます。心よりお慶び申し上げます。また、協議会活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
 昨年を振り返りますと、収量は昨年を下回りましたが、価格は高値で推移し販売計画を達成することができましたが、集中豪雨の被害にあわれた会員も出てしまいました。被害にあわれた会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。  
 また、新型コロナウイルスの影響で様々な活動に影響があり、更にはロシアとウクライナの戦争や円安の影響で急激な物価高に陥り、営農活動のコスト高はもちろん普段の生活にも甚大な影響があり消費者物価指数が大幅に上昇するなど資源に乏しく輸入に頼ることが多い日本の弱さを露呈することになりました。  
 しかし、スポーツの世界では昨年二月に開催された北京オリンピックでは史上最多となるメダル獲得や大谷翔平選手の二刀流での成功など世界の第一線で活躍する日本人に元気や勇気をもたらす機会が多かった年でもあったと思います。  
 本年度もコロナウイルスや気候変動、戦争などによる物価高は昨年よりも影響は大きなものになりそうです。行動や活動が制限され人との繋がりが希薄になりやすい状況になるなど、一昔前と大きく状況は変わりましたが少しずつ元の状況に戻り、そして新型コロナウイルスと共生していく新たな活動様式に変化してきています。  
 当協議会も状況や時代に合わせた活動を建設的に考え、行動して行かねばならないと思います。その暁にはより良い出来秋を迎えられ、東旭川地域が益々発展することと思います。  
 最後になりますが、本年度の会員皆様のご協力とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶にかえさせていただきます。

## 謹賀新年

青果物生産出荷協議会 東旭川支部  
 会長 ミトマト部会長 守屋 大輔  
 副会長 小原 隆  
 会計 花き部会長 玉臺 雄司  
 理事 ねぎ部会長 鎌田 弘信  
 白かぶ部会長 佐々木 孝日  
 ししとう部会長 遊 佐 智和  
 ほうれん草部会長 赤羽 智史  
 チンゲン菜部会長 工藤 慎吾  
 トマト部会長 山本 昭一  
 監事 千本ねぎ部会長 大江 健



## 新年のご挨拶



稲作協議会  
会長 佐藤 絢也



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方に於いては日頃より稲作協議会の活動に対しご理解・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの影響により協議会活動が制限され、会員の皆様方との交流が難しい一年となりました。

その様な中、雪解けは順調に進み農作業が始まりました。春先の天候は雨も少なく作業が捗りましたが、一般的に風が強く、5月下旬からの低温により初期生育の遅れが心配されたものの、その後好天に恵まれ順調に生育し、無事に収穫を終了することが出来ました。天候の影響や会員皆様の管理努力により、作況指数107の(良)との発表がありました。会員の皆様も作況指数並みの収穫を実感出来たのではないかと思います。

この様な状況下、JAへの出荷は昨年より約1万俵少ない8万1千俵となりましたが、ゆめぴりかに於いては基準品率が100パーセントと過去に無い成績でした。他のタンパク区分品種に於いても70パーセント以上が低タンパク米での出荷であり、一昨年多く見られた胴割れ米なども少なく、会員皆様の栽培努力により良い結果を残すことができた1年となりました。

新型コロナウイルスの影響により、協議会として思うように活動が出来ない中でも、感染予防の徹底をしながら、青空教室の開催や今後の東旭川稲作農業の低コスト技術を目的とした直播栽培研究会の設立、業務用米研究会に於いては追肥試験等を行い多収栽培の研究を、JAや農業改良普及センターの協力をいただきながら行ってきました。今後も、各機関の協力をいただきながら研究栽培を行って行きたいと思っています。

世界情勢の影響を受けやすい状況下、燃料高騰や肥料・資材の高騰など経営に影響を受け大変な時こそ、会員皆様で協力をしながら、情報を共有し今後の東旭川稲作農業について考え、努力をして行きましょう。

最後になりましたが、本年も稲作協議会の活動にご理解・ご協力をお願い申し上げ、災害が無く豊穡の秋を迎えられる事、会員皆様方のご健勝とご活躍にご祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

## 謹賀新年

稲作協議会

会長 佐藤 絢也  
理事 高橋 伯尚  
理事 坂井 恵一  
監事 大江 健

副会長 斎藤 雅紀  
理事 鹿野 剛  
理事 横尾 裕司  
監事 菅原 俊雄

会計 大橋 誠  
理事 三橋 泰文

## 新年のご挨拶



畑作協議会  
会長 荒内孝文



新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染防止のため総会も開催できず、会議や研修会等なかなか行えない中、畑作協議会の活動に多大なるご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

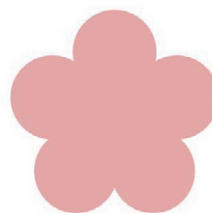
また、昨年の天候は、高温傾向にありましたが降雨もあり、畑作物の生育には良い天候であったと思います。収量に関しては、春小麦が減収、秋小麦、そばは平年並み、大豆は平年並み以上の結果となりました。

春小麦に関しては令和6年までの目標として設定した収量に向かって、増収の管理技術等、上川改良普及センターとも相談しながら会員の皆様に、具体的な情報を提供できるように準備していきたいと思っておりますので、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

近年の水田活用直接支払交付金、水田の畑地化等、目の前に色々問題があり、皆さん不安に思うことがあると思いますが、私達生産者が今できることは、収量と品質の向上、そして、消費者に対し「安全・安心」な農産物を提供することだと思います。協議会として、今後も技術の共有に力を入れ、収量増、高品質生産に向けた具体的な情報を提供できるように準備していきたいと思っておりますので、ご協力頂きたくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止に努めながら不安な生活を送っていますが、一日も早く収まることを願っております。

本年も皆様が健康でご活躍され、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 謹賀新年

畑作協議会

会長 荒内孝文  
会計・書記 三橋泰文  
理事 小竹一茂

副会長 三上善寛  
理事 大橋誠  
監事 安部寛正

副会長 外山実  
理事 高橋伯尚  
監事 綱島健



## 新年のご挨拶



兵村の里運営協議会  
会長 鈴木英義



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、兵村の里の活動にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響がある中、ロシアとウクライナの戦争による燃料や肥料の高騰など、様々な物価の値上がりにより農業経営が大変な年になったのではないのでしょうか。そのような中、会員の皆様には兵村の里に出荷頂きありがとうございます。まだ新型コロナウイルスの影響がある中、協議会の活動も少しは動き始めましたが、まだ元のような活動が出来ずにもどかしさが残る年になりました。

今年はより一層の充実を図り、会員の皆様と考えながらお客様のニーズに伝えていきたいと思えます。円安や物価高が続くなかで国産、地物の野菜・花が見直されています。地産地消を元に会員一同活動していきたいと思えますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

## 謹賀新年

兵村の里運営協議会

会	長	鈴木英義
副	会	長 森山志穂
会	計	赤羽智史
理	事	佐藤豊子
		〃 玉臺雄司
監	事	守屋大輔

## 謹賀新年

参	事	鈴木初彦	監査室長兼管理課長	日野原奈々恵
管	理	小薮亮平	企画課長兼審査課長	角 麻衣子
金	融	吉田一明	金融共済課次長 (金融担当)	鈴木達也
金	融	北條拓也	金融共済課長補佐 (共済担当)	勝見義昭
営	農	吉原寿一	営農販売課次長	中橋尚哉
営	農	野崎亜耶	統括生産資材課長	四月朔日彩香
生	産	谷 健太郎	燃 料 課 長	山本 純
豊	田	廣田拓也		

品目	令和4年度 計画				令和4年度 11月末実績			令和3年度 11月末実績			計画対比			前年対比		
	作付面積	販売数量	販売金額	kg単価	販売数量	販売金額	kg単価	販売数量	販売金額	kg単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
	a	kg	千円	円	kg	円	円	kg	円	円	%	%	%	%	%	%
ピーマン	166	166,000	66,400	400	123,105	62,598,606	508	160,384	68,363,858	426	74	94	127	77	92	119
ミニトマト	280	131,600	85,500	650	120,717	95,449,456	791	122,115	79,755,032	653	92	112	122	99	120	121
トマト	140	140,000	46,200	330	149,867	46,611,287	311	142,264	46,661,292	328	107	101	94	105	100	95
チンゲンサイ	180	64,800	26,000	400	67,502	28,298,457	419	43,844	18,237,602	416	104	109	105	154	155	101
軟白長ねぎ	10	4,500	2,000	450	2,120	1,054,057	497	4,830	2,015,791	417	47	53	110	44	52	119
ほうれん草	100	12,000	8,000	680	6,292	4,812,377	765	8,119	6,145,114	757	52	60	113	77	78	101
ししとう	33	14,850	16,300	1,100	13,759	20,043,465	1,457	19,387	20,771,103	1,071	93	123	132	71	96	136
白かぶ	35	8,750	2,200	250	11,506	3,639,382	316	12,073	3,192,142	264	131	165	126	95	114	120
千本ねぎ	60	1,980	2,200	1,100	2,004	2,696,035	1,345	2,292	2,994,863	1,307	101	123	122	87	90	103
花き	500		50,000			65,225,397			59,901,995			130			109	
その他		113,400	43,200		108,676	47,609,184		94,523	44,437,021		96	110		115	107	
(サントリーミニトマト)	79	31,600	18,300	580	6,012	4,016,736	668	8,196	4,901,472	598	19	22	115	73	82	112
(小松菜)	200	28,000	9,800	350	26,736	10,510,009	393	29,959	10,590,843	354	95	107	112	89	99	111
(激辛なんばん)	6	3,000	3,600	1,200	3,447	3,065,756	889	2,494	3,162,411	1,268	115	85	74	138	97	70
(ブロッコリー)	58	5,800	1,300	230	4,188	650,069	155	4,480	1,040,336	232	72	50	67	93	62	67
(さつまいも)	250	45,000	7,200	160	53,206	7,470,234	140	14,848	2,528,048	170	118	104	88	358	295	82
(その他)			3,000		15,087	21,896,380	1,451	34,546	22,213,911			730		44	99	
兵村の里			52,000			52,881,713			46,277,248			102			114	
計	1,504	657,880	400,000		605,548	430,919,416		609,831	398,753,061		92	108		99	108	

## 農業用ビニール・ポリ回収を実施

11月16日・17日・21日の3日間、農業用ビニール・ポリ等の回収が行われました。

11月16日の農薬ボトル・苗箱回収では71件の12.5 t、11月17日の農業用ビニール・ポリ回収では125件の29.4 t、11月21日の硬質プラスチック回収では51件の5.1 tが回収されました。

また17日の回収の際には稲作協議会・畑作協議会・青年部・旭川青果物生産出荷協議会東旭川支部・兵村の里運営協議会の皆様にご協力をいただき、大変スムーズに回収を行うことができましたこと、お礼を申し上げます。

組合員の皆様には、分別回収へのご理解とご協力をお願い申し上げます。





## ≡コンプライアンス研修会開催≡

11月18日、全役職員によるコンプライアンス研修会を開催致しました。  
本年は、JA北海道中央会旭川支所 調査役 小島健睦<sup>こじまたけちか</sup>氏と鳥本愛結<sup>とりもとあゆ</sup>氏を講師に迎え、コンプライアンスとは何か、法令に遵守した事業活動と個人情報保護の重要性や独禁法の基礎について講演いただきました。



特に職場内におけるコミュニケーションがコロナ禍の影響でここ数年減少傾向にあることから、報告や連絡、相談ができる風通しの良い職場づくりが重要であり、それが不祥事の防止に繋がることを再認識できた研修会となりました。

今後も法令遵守はもちろんのこと、組織としての倫理や社会的ルールを確立し、活力ある職場づくりを役職員一同心がけて業務に努めてまいります。

## 令和5年度 営農計画書の提出について

令和5年度の営農計画書について、1月中旬クミカン報告書の配布時に各戸へお届け致しますので、下記の要領にて期日までにご提出願います。

### 1. 提出期限

令和5年1月31日（火）

### 2. 提出方法

- 1) 冊紙
- 2) USBメモリ
- 3) メール

※尚、提出方法の詳細については1月中旬のクミカン報告書配布時に改めてご案内致します。

### 3. 提出先

農事組合	提出先
西・本町、南地区、北地区	金融共済課（金融）
日の出・倉沼、桜岡地区	営農販売課
豊田、パーパン	豊田支所

尚、皆様から提出されました営農計画書に基づき①供給限度額 ②現金支出限度額 ③貸越極度額 が設定されますが、営農計画書樹立までの間、2月末まで暫定限度を設定させていただきます。暫定限度については、家計費を前年度の30%以内とし、家計費以外の項目については、前年度計画の範囲内と致します。

## 防犯訓練

11月17日に本所貯金窓口にて、防犯訓練を実施致しました。

旭川東警察署にご協力いただき警察官の方が犯人役となり、強盗が入ってから110番通報及び、犯人の情報提供を行うまでの模擬訓練を実施しました。

訓練終了後、警察官の方から訓練の総括をいただき、年内に起こった強盗の実例を交えながら犯人にどう対処したら良いか等を教えて頂き、職員全員の防犯に対する意識が高まり、防犯体制の重要性を再認識できました。



# 定年退職のご挨拶



参事

鈴木初彦

組合員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶びを申し上げます。

この度、12月末日をもちましてJA東旭川を定年退職致しました。顧みますと昭和59年に臨時職員として生産資材課で雇用され、以来38年間にわたり勤務させていただきました。これも偏に組合員の皆様をはじめ役職員皆様の温かいご指導・ご厚情の賜と心より厚くお礼申し上げます。

1月からは、嘱託職員の参事として引き続き勤務させていただくことになりましたので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

農業情勢は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や新型コロナウイルスが終息しない中、消費の減退や燃料・生産諸資材の高騰など極めて厳しい状況ではありますが、組合員・役職員が一体となってこの難局を乗り越えていかなければなりません。

私も微力ではありますが、力を尽くしてまいる所存でございますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

最後に組合員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともにJA東旭川の益々の発展をご祈念致しまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

## 人事異動

### 退職

お世話になりました。

令和4年12月31日  
参事

鈴木初彦

### 異動

令和5年1月1日  
参事（嘱託職員）

鈴木初彦

## 行事経過と予定

### 1月

- 6日 新年恒例会・五穀豊穰祈願祭
- 16日～18日 みのり監査法人監査
- 25日～27日 組合員宅巡回訪問
- 31日 事業年度終了  
みのり監査法人棚卸立会・実査  
決算棚卸（東旭川給油所を除く購買店舗は休業）

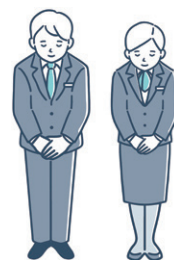
### 2月

- 27日～28日 組合員宅巡回訪問
- 27日～  
3月3日 みのり監査法人期末監査

## 臨時休業のご案内

1月31日（火）は、決算棚卸のため生産資材店舗・豊田支所（購買店舗）を休業致します。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。





# 手形・小切手等代金取立手数料の改定について

日頃より貯金窓口をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、全国銀行協会において手形・小切手の交換方法を電子化する「電子交換所」の設立に伴い、手形・小切手等のお持込みに係る代金取立手数料を令和5年2月1日より改定しますので、下記の通りお知らせいたします。

今後もお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 1. 改定日

令和5年2月1日（水）

## 2. 改定内容

代金取立手数料

改定前（税込）	
小切手	無料
手形	660円
その他取立	660円



改定後（税込）	
電子交換取立 （小切手・手形等）	660円
個別取立 （電子交換所不参加取立）	1,210円
不渡手形返却料	1,100円
取立手形組戻料	1,100円
取立手形店頭呈示料	1,100円

お問い合わせ先 **金融共済課（貯金）** ☎36-2111

# みんなの広場

## クリスマスリースと正月飾り

玄関や部屋に飾り付けをし、季節を楽しまれているそうです。  
皆さんはどのように季節を楽しまれていますか？



◀クリスマスリース▼



▲お正月飾り



(北地区農事組合 森山 志穂さん作)

企画・発行 東旭川農業協同組合

### パレット回収のお願い

肥料の早期取りまとめ・お引き取りにご協力を賜りありがとうございます。

当JAで仕入や配送に使用しているパレットが不足しておりますので、庭先に空きパレットがございましたら、生産資材課までご連絡をお願い致します。

道栄パレット



リースパレット・生産資材課パレット



お問い合わせ先：生産資材課 ☎36-6031



### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年につきましては、新型コロナウイルスの影響でまだまだ制限はありましたが、協議会活動や青年部・女性部合同事業が行われ、組合員さん同士での交流が少しずつできる環境になってきたのかなと感じています。

青果につきましては、1月上旬より雪の下で厳しい寒さに耐え甘味を蓄えた“千本ねぎ”の出荷が始まります。約3か月と短い出荷期間ではありますが、スーパー等で見かけましたら、ぜひお求めいただきご賞味ください。

今年は昨年以上に読み応えのあるJAだよりを作成してまいりますので、今後ともJAだより「~~お~~一ひかり」をよろしくお願い致します。  
(藤原)

発行責任者 畑山 義裕

印刷 (株)総北海